



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平野 敏樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 清野 昌彦 TEL 026-285-4101
 代 行
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,199	4.2	279	2.2	421	△4.3	265	1.4
2019年3月期第1四半期	53,938	1.5	273	0.5	440	△6.3	261	△9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 161百万円 (△54.1%) 2019年3月期第1四半期 352百万円 (△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.03	—
2019年3月期第1四半期	11.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	59,163	21,230	35.2
2019年3月期	57,393	21,351	36.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 20,811百万円 2019年3月期 20,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.00	—	12.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	3.00	—	12.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	3.7	1,900	7.1	2,400	2.7	1,500	26.3	67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	23,121,000株	2019年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,069,596株	2019年3月期	1,069,496株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	22,051,437株	2019年3月期1Q	22,373,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内景気は引き続き緩やかな回復が継続しましたが、米中貿易摩擦問題などによる世界経済の不確実性の高まりや、本年10月に予定される消費税増税による個人消費への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、生活者の節約志向が続く中、業種・業態を越えた競争の激化や人件費の上昇や物流コストの増加など引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした環境下、当社グループでは当期を最終年度とする中期経営計画「変革2019～日本の中のマルイチを目指して～」の目標達成に向け、「成長戦略」「事業構造改革」「人の成長」をキーワードに戦略課題を推進しております。営業部門の重要戦略として「グループシナジー戦略」「重点得意先戦略」「全社物流戦略」を掲げ、それぞれに担当役員を置き、各戦略を推進しております。事業構造改革につきましては、基幹システムの刷新など経営基盤の再整備に引き続き取り組んでおります。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は561億99百万円（前年同期比4.2%増）となりました。利益面につきましては、売上高の拡大に伴い販売運賃が増加したものの、管理費等のコスト削減に努め、営業利益2億79百万円（同2.2%増）、経常利益4億21百万円（同4.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億65百万円（同1.4%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

水産部門では主要魚種であります国産天然魚や養殖魚等を中心に、調達機能のさらなる強化と業務提携先との協業による販路の拡大に取り組んでおり、デイリー部門では自社開発商品による販売エリアの拡大を進めております。フードサービス事業部では当社グループの原料調達力を活かした惣菜マーケット向け商品の開発と販売を推進しております。以上のことから、売上高につきましては329億2百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面につきましては、構内物流業務の改善等に継続して取り組んだものの、水産物の仕入価格上昇や調達コストの増加等の影響により、営業利益は85百万円（同26.3%減）となりました。

<一般食品事業セグメント>

基盤商圏における主要顧客への提案営業による取組み強化と、当社の水産品の調達力を活かしたオリジナル商品の開発など自社開発商品を基軸とした販路拡大を推進し、売上高につきましては73億98百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

利益面につきましては、3月の長野支店物流センター移転に伴う一過性の構内物流コストの上昇により、営業損失は27百万円（前年同期は24百万円の営業損失）となりました。

<畜産事業セグメント>

国産豚肉について相場が高値推移したことで販売及び収益確保に苦戦したものの、商品調達力と加工機能を活かして関東・東海・中京エリアへの販売拡大を進めたことから、売上高につきましては83億34百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の拡大による売上総利益の増加等により、営業利益は1億31百万円（同6.9%増）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

水産事業では惣菜・業務用マーケットへの販路拡大、畜産事業では主要顧客との取組み強化による安定した収益構造の構築、冷食事業では市販用マーケットのシェア拡大を推進し、売上高につきましては72億39百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は80百万円（前年同期比91.5%増）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス㈱は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。業績につきましては、売上高は3億24百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は10百万円（同41.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は591億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億70百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が11億59百万円、商品及び製品が14億円増加したことによります。

負債は379億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億90百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が19億45百万円増加したことによります。

純資産合計は212億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の36.5%から35.2%に減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,095	9,387
受取手形及び売掛金	22,029	23,189
商品及び製品	5,127	6,528
仕掛品	12	6
原材料及び貯蔵品	193	213
その他	2,719	2,601
貸倒引当金	△57	△59
流動資産合計	40,121	41,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,099	3,092
土地	8,292	8,292
その他(純額)	881	1,015
有形固定資産合計	12,273	12,400
無形固定資産		
のれん	262	240
その他	94	90
無形固定資産合計	357	330
投資その他の資産		
投資有価証券	2,859	2,696
退職給付に係る資産	150	152
その他	1,895	1,964
貸倒引当金	△265	△248
投資その他の資産合計	4,640	4,564
固定資産合計	17,271	17,296
資産合計	57,393	59,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,621	28,567
短期借入金	1,258	1,246
1年内返済予定の長期借入金	370	340
未払法人税等	382	223
賞与引当金	635	320
資産除去債務	65	65
その他	3,782	4,336
流動負債合計	33,115	35,100
固定負債		
長期借入金	1,020	957
役員株式給付引当金	48	48
債務保証損失引当金	57	57
退職給付に係る負債	639	605
資産除去債務	61	61
その他	1,097	1,100
固定負債合計	2,925	2,831
負債合計	36,041	37,932

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,387	3,387
利益剰余金	14,481	14,480
自己株式	△1,146	△1,147
株主資本合計	20,441	20,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	421
退職給付に係る調整累計額	△57	△51
その他の包括利益累計額合計	490	369
非支配株主持分	418	419
純資産合計	21,351	21,230
負債純資産合計	57,393	59,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	53,938	56,199
売上原価	48,205	50,242
売上総利益	5,732	5,957
販売費及び一般管理費	5,458	5,677
営業利益	273	279
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	49	54
受取賃貸料	87	58
その他	40	42
営業外収益合計	177	156
営業外費用		
支払利息	5	5
固定資産除却損	0	7
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	3	1
営業外費用合計	10	14
経常利益	440	421
税金等調整前四半期純利益	440	421
法人税、住民税及び事業税	247	213
法人税等調整額	△79	△74
法人税等合計	168	138
四半期純利益	271	282
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	265

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	271	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	△127
退職給付に係る調整額	7	6
その他の包括利益合計	80	△121
四半期包括利益	352	161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342	144
非支配株主に係る四半期包括利益	10	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,570	7,248	7,812	6,972	53,603	334	53,938	—	53,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	27	331	21	845	796	1,641	△1,641	—
計	32,035	7,276	8,144	6,993	54,449	1,130	55,580	△1,641	53,938
セグメント利益 又は損失 (△)	115	△24	122	41	255	18	273	—	273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,902	7,398	8,334	7,239	55,875	324	56,199	—	56,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	454	23	349	26	853	820	1,674	△1,674	—
計	33,357	7,421	8,683	7,265	56,728	1,145	57,873	△1,674	56,199
セグメント利益 又は損失(△)	85	△27	131	80	269	10	279	—	279

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。